

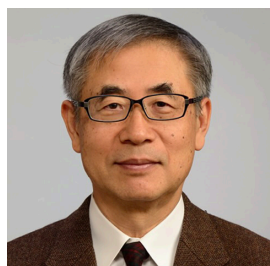


関東あまたか No. 51

発行者 松野 明久
発行所 関東あまたか会
事務局 E-Mail
akimatsuno@mac.com

語ってください、人生を

関東あまたか会会長 松野 明久（1975 年卒・高 27）



7 月 28 日の熊本地震において、建物の倒壊やイオンモールの爆発事故、酷暑の中での避難・復旧作業による災害関連死等で犠牲となられた方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。

関東あまたか会の役員をするようになって先輩同窓生の話を聞く機会が増えました。激動の昭和・平成を生きて来られた先輩方の人生はどれも「連続テレビ小説」の題材になりそうな波乱と苦勞に満ちたものです。

戦後の混乱した時期、高度経済成長、バブル、そして失われた 30 年。いずれにしても息をつく間もないほどモーレツに生きてこられたことでしょう。また、震災、津波といった大

災害や事故を経験された方もおられます。私自身も、阪神・淡路大震災（1995 年）の時は大阪に暮らしており、東日本大震災（2011 年）の時は東京に居を構えていましたので、大変な状況だったことを思い出します。

学生の頃、バリ島の農村の夜道をバイクで走っていて田んぼに突っ込んだことや、東ティモールで仕事中原因不明の腹痛で国連病院で手当を受けたことがありました。銃声が聞こえる中で仕事をし、銃弾を受けた人を手当しました。振り返ってみれば、我ながらよく無事でここまで来たとと思います。

同窓生のみなさんには歩んで来られた人生についてぜひ語っていただきたいと思います。「昔のことなど・・・」と遠慮しないでください。自分にとっては普通だと思えることも、若い世代にとっては驚きの人生であったりするのです。会報『関東あまたか』は現役の高校生や若い人たちも読んでいます。書き記しておけば、どこでどういうリアクションがあるかわかりませんし、何かしらのインスピレーションを与えるに違いありません。編集委員会からお声かけする場合がありますので、どうかよろしくお願いします。

かけがえのない学校として

熊本県立天草高等学校 校長 岩寄 毅



関東あまたか会の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動に温かい御理解と御支援を賜り、心より感謝申し上げます。校長を拝命して三年目、改めて母校の歴史と重みを胸に、身の引き締まる思いで日々を過ごしております。

本年、本校は明治 29 年の天草分校創設より 131 年を迎え、11 月 20 日には創立 130 周年記念式典を挙行いたします。幾多の時代を越え、多くの先輩方が紡いでこられた歩みの上に、今の天草高校があることを強く実感しております。

さて、紙面をお借りしまして、学校の近況について、少しばかり御報告をさせていただきます。

4 月 27 日には、第 81 回体育大会を「煌瞬～130 年を繋ぐ全力疾走～」のテーマで開催しました。グラウンドにあふれる生徒たちの笑顔と歓声は、まさに青春の輝きそのものであり、戦前の運動会から続く百余年の時の重なりを感じさせるものでした。今も昔も、こうした何事にも直向きに取り組み、友と一緒に、輝くばかりの一瞬一瞬を完全燃焼する、その積み

重ねこそが、天高の歴史であると改めて心に刻まれました。

部活動も活発で、先日開催されました県高校総体では、水泳部は九州大会、陸上競技部は南九州大会へ出場権を獲得しました。また科学部はアマモ研究や海洋環境保全の長年の取組が評価され、昨年三重県で開催された「全国豊かな海づくり大会」において農林水産大臣賞を受賞し、レセプションでは天皇皇后両陛下から直接お言葉をいただく栄誉にも浴しました。

学習面では、SSH 事業のもと、九州大学研修や熊本大学の連続講義、シンガポール・台湾での海外研修などを展開しております。韓国の土坪高校との交流事業と SSH の探究成果発表会のコラボを図ったほか、昨年末には、台湾の中興高級中学、静宜大学との三者協定も締結するなど、国際的な学びが一層広がっています。

今春は 210 名の雛鵬が巣立ち、国公立大学 61 名をはじめ慶應義塾大学などの私立大、専門学校、公務員就職など、多様な進路へと歩み出しました。それぞれが母校で培った力を胸に、新たな世界へ羽ばたいています。

高校教育が大きく変わろうとする今だからこそ、天草高校が地域にとって、そして同窓の皆様にとって、いつまでも誇りであり続ける「かけがえのない学校」であるよう努めてまいります。どうかこれからも、母校への変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。



卒寿を迎えて

富山 訓全（1956年卒・高8）



90才まであと1年かと思うと感慨深い。8人兄弟の末っ子だった私は子どもの頃から体が弱かった。とくに胃腸が弱く、高校時代、3限目には胸がムカムカしていた。体を鍛えようと高校で柔道をやり、1年通った熊本商科大で空手をやった。若い頃体を鍛えたからか、今でも元気だ。その後、立教大学（文学部史学科）を卒業して学習塾を開き、会社勤めもした。妻は同じ御所浦出身で、数年前に亡くなった。今は一人暮らしで、隣に住む息子夫婦や孫が時々様子を見に来る。しかし、食事は一人で作って食べる。牡蠣、たら、鮭などの鍋が好きだ。夏はサラダ。タコや魚が好きで、鰺・鯖・秋刀魚を大根おろしとともによく食べる。胆嚢を取ってしまったので、油っこいものは食べれない。

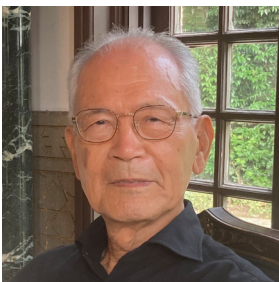
楽しみは将棋と英語のクロスワード。将棋は会社に勤めていた頃、みんながやっていた。しかし、年長の先輩にはすぐ負ける。それがくやしくて本や雑誌で勉強した。結果、腕前は2段。雑誌『将棋世界』のコースに応募し、審査を受けて昇段した。今はスマホのアプリで詰め将棋をやっている。クロスワードは新聞に出ているのを解き、毎週郵便ポストまで歩いて行って投函する。運動といえばそれが唯一だろうか。

今は亡き妻と一緒によく天草に帰ったことが思い出される。陸路は不便で、船が便利だった。三角から船を貸し切って御所浦まで行ったものだ。今年の3月、転んで1ヶ月半入院したが、退院後は元気に暮らしている。



卒寿を迎えて

有馬 巖（1956年卒・高8）



昨年9月に米寿を迎え、よくぞ今日まで生きて来たものだ感慨深いものがありました。これまでを振り返って大きな節目が2点あげられそうです。まず妻との別離で、7年前に重篤な病を患い余命1年の宣告。抗ガン剤等の投与の

甲斐もなく、5年前にこの世を去りました。

妻なき後の2年目、後を追うように自分に大腸ガンが見つかり入院即手術。経過は良好でしたが、血液検査の結果転移が判明。ステージIVの告知を受け、奈落の底に突き落とされました。

一時は死を覚悟するも、治療の結果奇しくも半年後に寛解と医師から告げられた時は正に夢心地でした。あの悪夢の日から5年目に卒寿を迎える日の秋まで再発等余病に見舞われなければ — と心から神仏に祈る心境です。



長寿祝

おめでとうございます

天涯孤独の身をどう生き延びるか、試行錯誤の連続でした。食は週3回の宅配食を活用し、十分とはいえないが自活生活に満足。健康の面では7千歩を日課とし、ハイキング等にも積極的に参加して体力の保持に努めています。

他方、インドア面では認知機能の衰えを防ぐべく脳トレゲームに。また20余年関与してきた絵画サークル活動を若手にバトンタッチ。現在フリー参加、絵を描く楽しみを仲間と共有。歌の効用を薦められ、歌の会、カラオケにも顔を出すなど、できるだけ人との接触をはかりつつ、日々楽しんで過ごしています。



米寿を迎えて

久野 栄子（1958年卒・高10）



もう米寿を迎えることになったのかとわれながら驚いています。これまで大病・大怪我もせず健康に過ごしてきました。今も血圧が少し高いくらいで、日々元気にやっています。元気の素は何と

いっても娘3人孫5人と集まってワイワイおしゃべりをする事です。食事は私が作ります。新聞販売店だったわが家では、毎日20人の若い店員さんたちに食べさせていましたので、大勢の食事作りはなれていました。ただ、大学生・高校生の孫たちに合わせるとどうしても肉料理が多くなります。

佐世保出身の夫と結婚して東京の中落合に暮らし始め、以来ずっとそこにいます。4年前に亡くなった夫は物静かな性格で、将棋が趣味でした。一方、おしゃべりな私は声も大きく、朝ゴミ出しに行き近所の方と話をすると、夫から「おまえの声だけが聞こえていたよ」などと言われたものです。私の趣味は編み物で、娘が買ってくれたグーグル・ホームで演歌を聴きながらベストやセーターを編んでいます。以前は近くの銀行が開催していたヨガ教室に通っていましたがコロナ以降教室は閉じられてしまいました。

私は高校生の頃、福岡県の炭鉱の事故で一人息子を亡くしたお母さんについての記事を新聞で読み、痛く心に刺さるものを感じてその方に手紙を出しました。すると返事があり、高校を出ると、その地域で親を亡くした子どもたちを預かる養護施設に勤めることになり、そこで保母の資格を取りました。結婚はその後です。振り返ってみると幸せな人生を歩んできたと思います。

卒寿 90歳	米寿 88歳
傘寿 80歳	喜寿 77歳
古希 70歳	



今後もご活躍ください



傘寿を迎えて

津田 志保子（1966年卒・高18）



傘寿を迎えることができたことに、まずは深い感謝の気持ちでいっぱいです。現在は夫と二人、県営住宅で慎ましく暮らしております。これまで支えてくれた家族や友人、健康に恵まれてきたことに改めて感謝し、ここまでの人生を振り返ると多くの思い出と学びがあったことを実感しています。

コロナ前、台湾旅行で天燈（ランタン）をあげたことが一番の思い出です。十分（シーフェン）という町で、電車の通行の合間に線路上から願い事を書いた大きなランタンに火をつけてあげるのです。空高く上がっていくたくさんのランタンは、天に願いが届くようで感動しました。「健康に過ごせますように」と願ったおかげで、特に持病もなく散歩を日課に、読書を楽しみ、時には孫守りを頑張っております。

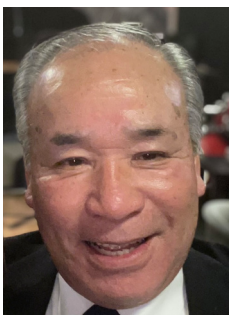
これからは、無理をせず自分のペースで毎日を大切に過ごしていきたいと思います。

新しい趣味に挑戦したり、孫たちと過ごす時間をもっと増やしたり、あまたか会の活動にも参加して、これまで以上に充実した日々を送りたいと考えています。欲を言えば、イタリアのピサの斜塔とエジプトのクフ王ピラミッドを、足腰が動くうちに見てみたいと思いますが、さて、これが叶うかどうかまたご報告させていただきます。健康に気をつけながら、心豊かに人生を楽しみたいと思います。



喜寿を迎えて

川上 文明（1969年卒・高21）



天草を離れて60年近くなります。天高在校時の一番の思い出は、バレーボール部に所属し、厳しい夏合宿後、国体県予選でベスト8まで勝ち進み、当時教頭の鶴田先生がわざわざ教室まで来られて「天草高校開校以来の快挙である」と褒めてくださったことです。この言葉は一生忘れることができません。

現在八千代市に住んでいます。小学生の頃、熊本駅で蒸気

機関車の汽笛に感動し、国鉄に憧れました。天高3年の時、熊鉄局に問い合わせましたが、採用人員が少なく厳しいとのことでした。採用枠が多い東鉄南局に問い合わせ後、受験し合格。念願が叶い入社。出だしは操車場（貨車の入換え作業）、その後念願の車掌職となり、京浜東北線、東海道線、内房・外房線、新幹線に乗務。国鉄時代は東京～博多間の乗務で故郷九州に行けて張り切っていましたが、分割民営化で乗務区間が東京～新大阪になり、乗車人員が多い区間での仕事で大変でした。その後、新幹線指令業務、新横浜駅、東京駅の駅業務（ホームで列車出しの業務）を経て定年を迎え、およそ46年の鉄道人生を終えました。鉄道が好きだったので、途中挫折することなく一筋に頑張ってきた。

45年間手となり足となり支えてくれた妻は68歳であの世に行ってしまい、淋しく一人住まいになってしまいました。今、心の癒しは隣りの家のたった一人の孫（小2・女）です。暇な時はライブやゴルフに行き、淋しさを紛らしています。

まもなく喜寿を迎えますが、残りの人生、悔いがないように元気に頑張っていこうと思っています。



古希（デザート世代）を迎える私たち

江頭 眞喜子（1976年卒・高28）



高校の校門を潜ったあの日から半世紀あまりの月日が流れ、気がつくやうに人生の大きな節目に立っているようです。シンガーソングライターのイルカさんが人生をフルコースに例えて私たちの世代をデザート世代と呼んでくれました。

親の時代は、70歳というとおじいさん、おばあさんという感じがしていたのですが、まだまだ元気で若いと心の中で叫んでいる自分がいます。

同級生の会話の中で、若い頃はそれぞれの仕事や子育てなどで目の前の生活に精一杯の日々だったと、口々に言っていました。しかし、今だからこそ、体の動くうちに、頭の中も働いているうちに、興味のあることに挑戦してみたいとそれぞれに思っているようです。そこでこれからの目標を聞いてみました。

- ・足を鍛えてハーフマラソンにエントリー（凄いなあ！）
- ・ギターを習っておやじバンドにはいる（ライブいくよ）
- ・日本をゆったり旅したい（温泉とかいいよね）
- ・仲間とおしゃべりしたい（美味しいスイーツ食べながら）
- ・天高時代の初恋の人に会いたい（ドキドキ）

ワクワクすることが、ざっくりと山ほどあります。

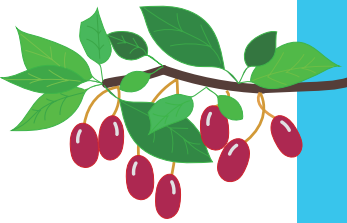
そして当たり前のことですが、しっかりご飯を食べて健康で笑って長生きしようという言葉でまとまりました。

古希を迎えるに当たり、周りに温かな空気を運べるような穏やかで実りある一日一日を過ごせたらいいと感じています。



つわのきんぴら

つわは天草の春の味の代表格。ふきとはまったく違う。手を酢でぬらして（手が黒くなるのを防ぐ）皮をむき、水を張ったボールの中へ。さっと固ゆでしてアクを抜いてから油で炒める。小口に切った鷹の爪、砂糖、醤油で味つける。（松尾）



ぐみ

懐かしい！

伝 承

食べてますか？

食用旺盛な高校時代。天草の海山の幸をたっぷり食べたからこそ、健やかに育ち、スポーツに勉強に頑張れたのではないのでしょうか。その後の人生を前向きに生きることができたのも、きっとそのおかげです。

すっこべの煮付け



すっこべは天草地方の方言でカワハギ（皮剥）のこと。淡泊な白身が煮付けにぴったり。身離れがよく、食べやすい。新鮮なすっこべの肝はとくにうまい。ウマヅラハギは似ているが、やや大きく、別な種類の魚になる。（吉村）

ふだん草の白和え

ふだん草（うまい菜）の白和えも天草の味。茹でて絞り、豆腐の衣と和える。人参やこんにゃくを入れてもよい。衣の味は麦味噌、ごま、砂糖。ふだん草の味をストレートに出したければ塩味の衣にする。上に白ごまをかける。水っぽさを防ぐため茹でたふだん草に軽く醤油をまぶしてから絞ってもよい。（松野）



ぶたえ

ぶたえは天草郷土料理の筆頭格。天草では最近タコがあまりとれなくなったそう。将来は高級料理になっていくのかもしれない。

なすとタコが基本材料だが、ピーマンを入れるとよい。なすとピーマンを炒めて、水を少々入れ、砂糖、味噌を加え、なすが柔らかく煮えたらタコを入れて仕上げる。名前の通り、本来は豚肉を使うそうだから、タコを豚肉に代えてもいい。（吉村）



かく煮えたらタコを入れて仕上げる。名前の通り、本来は豚肉を使うそうだから、タコを豚肉に代えてもいい。（吉村）

ひともじのぐるぐる

ひともじ（一文字）とは、わけぎ（分葱）の熊本方言。ひともじのぐるぐるは熊本県の郷土料理で、天草でもよく作られている。酢みそで食べる。（吉村）



がらかぶの煮付け



がらかぶ（標準語はガシラ）は旧瀬戸橋の近くの海岸での釣果。下処理はヒシの棘に注意しながら内臓と鱗を取ってきれいに水洗い。味付けは五和町御領の池崎醤油の「漁師風 煮付醤油」のみ。生姜とゴボウを一緒に鍋に入れて強火で5分。魚を皿に取上げ、野菜（大根・ナス・玉ねぎ）を加えて中火で15分。塩ゆでした天草の丸オクラをそえて出来上がり。魚の味は上品で炊き合わせの野菜も美味。ガラカブが小振り過ぎたのが残念。（野中）

鰯のかまぼこ

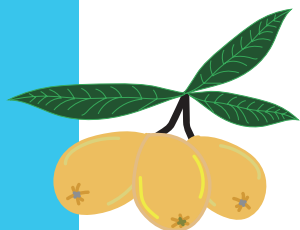
てんぷらともいう。骨を取った鰯の身を包丁で叩いて、すり鉢ですりつぶす。ミンサー（ミンチをつくる器具）だと骨ごとすりつぶせる。卵白、片栗粉、塩を入れて練る。ごぼうのささがきや人参の細切りを入れてもいい。手でまとめて揚げる。（松野）



うまい!

天草の味

作ってみませんか?



ひわ

編集チーム(調理・写真・解説) 松尾弘美(高15)、明瀬建(高17)、
星野悦子(高18)、木村さよ子(高24)、吉村いつみ(高25)、野中昭
信(高27)、松野明久(高27)

ばら寿司



塩サバを使った寿司で、無塩(ぶえん)寿司とも言う。大勢の人が集まるときに1升ほどのご飯を炊いて作っていた。塩サバは軽く洗って皮と骨を除き、千切りの生姜とともに寿司酢に一晩つけておく。干し椎茸は戻して薄切りにし、先に煮る。そこにささがきごぼう、人参、ちくわ、かもぼこ、出汁を加えてさらに煮て、薄口醤油で味を整える。炊き上がったご飯に具と寿司酢をまぜ、少し冷めてから塩サバ、生姜を混ぜる。寿司酢の味は各家庭の作り方でよい。(松尾)

卵の巻き寿司



子どもの頃、海苔巻き寿司よりこっちがいいねと、誰もが納得したのが卵の巻き寿司。これが郷土料理としてあるのは熊本県と高知県。九州のお寿司は甘め。それを甘い卵焼きで巻くのだから、まるでお菓子のよう。子どもたちが好きなのも当然ですね。(吉村)

ピーナッツ豆腐

天草の他、沖縄、鹿児島、熊本、長崎、五島列島などでよく食べられている。酢味噌などで食べる。(松尾)



山椒の思い出

桜の花が咲く頃、木の芽がやわらかい新芽を出し始めると、天草での思い出がよみがえります。父の実家では庭先や畑の脇にある山椒の葉を摘み、佃煮を作るお店に納めていました。天高へ(坂瀬川から)バス通学していた私は、本渡中央バスセンターにいと、おみやげもの屋さんから山椒の佃煮を作る香りが漂ってきて、それが好きでした。(松尾)

木の芽(山椒の若芽)と
ちりめんじゃこのふりかけ

木の芽ひとつかみ、ちりめんじゃこ1カップ、生姜ひとかけ(小)、酒1/2カップ、みりん大さじ2、塩少々を鍋に入れ、水分がなくなるまで炒り煮にする。ちりめんじゃこに塩分がある場合は塩は不要。(松尾)



ちりめん山椒



ちりめんじゃこ100gをサッと熱湯に潜らせ塩分を抜く。実山椒1/4~1/3カップ、濃口醤油60ml、酒50ml、みりん大さじ1を煮立て、ちりめんじゃこを入れて中火で煮る。煮詰まる直前に山椒の実を入れ、水分がなくなるまで煮る。(松尾)

山椒の葉の佃煮

山椒の若芽を20~30秒ゆでてあく抜きをし、ざるにあけて絞り固め、数カ所包丁を入れる。それを鍋に入れ、醤油・酒・みりんを1:1:1の割合で八分目ほど入れ、弱火で煮詰めていく。時々火を止め、煮含める。調味料は自分の好みで調整する。(松尾)



とさか

最近では天草でも海藻がとれなくなったと聞く。サッパリしたとさかの酢の物は夏の風物詩。彩りよく春雨、キュウリ、ワカメを加え、味は基本の三杯酢で。(松尾)



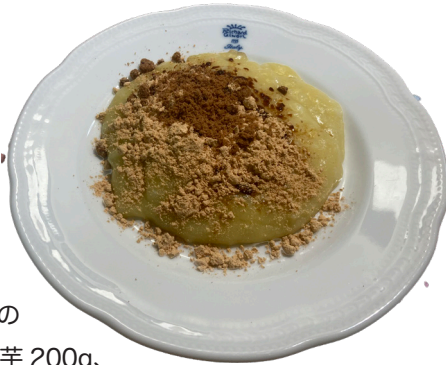
がねあげ



唐芋（薩摩芋）を千切りにし、メリケン粉の衣で作った揚げ物です。見た目ががね（＝蟹）のようだからがねあげ。小さい頃、親戚で集まる法事のときなど、戸外にかまどを用意して、親戚のお

じちゃんの役目が揚げ方でした。大きなフライパンで大きいのをいっぱい作っていました。大きいので、切って盛り付けてありました。今、わが家ではホットケーキミックスの粉を使って作ってます。甘みもあってふっくらととっても美味しく簡単にできるので、時々おやつに作ります。孫が喜んで食べてくれます。（木村）

ねったくり



余った正月の餅を唐芋（薩摩芋）と一緒に練ってつくっておやつ。「ねりぼう」とも言う。唐芋と餅の割合は2:1ぐらい。芋200g、餅100gで2人分。餅が多いと胃にもたれる。唐芋の皮をむいて輪切りにして水から煮て、沸騰後9分ほど茹でる。お湯を少し残して薄く切った餅を入れ、さらに4分ほど煮る。スプーンなどでよく混ぜ、なめらかなになるまで練る。皿にとり、きな粉と黒砂糖をまぶして食べる。（松野）



ねりぼう（木村）

思い出の黒砂糖作り



御領神社近くの精米所では、家で収穫したサトウキビを持って行くと黒砂糖に加工してくれた。サトウキビを機械で絞り、その汁を大きな釜で混ぜながら煮詰めると黒糖独特の濃くて甘い香りが漂う。石灰（水酸化カルシウム）を入れて冷ますと食べやすい固さの黒砂糖になる。石灰を入れる前のドロドロしたものをきれいに洗った孟宗竹の皮にのせてもらった。それは「ギチ」と呼ばれていた。（星野）

石灰（水酸化カルシウム）を入れて冷ますと食べやすい固さの黒砂糖になる。石灰を入れる前のドロドロしたものをきれいに洗った孟宗竹の皮にのせてもらった。それは「ギチ」と呼ばれていた。（星野）

高菜漬け



平石さん（高16、会報No. 50に記事）から分けてもらった高菜を育て漬物に。高菜漬けは最高！（明瀬）

だご（まんじゅう）

天草のだご（まんじゅう）の特徴はそれをのせる「かっからの葉」にある。和名はサルトリイバラ。つるんとしていてまんじゅうが剥がれやすい。甘いお菓子が今ほどなかった昔、蒸しだごは手作りおやつとして年間を通して時々作られていた。かっからの葉を近所の山にとりに行くのは子どもの仕事。待ちきれず、作りかけのあんこに手を出して怒られながら、蒸し上げるのを待ったものだ。（松尾）



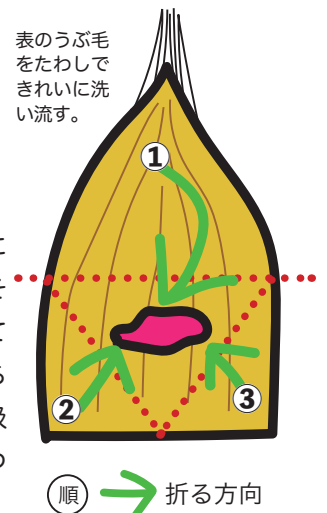
こっばもち



天草の特長あるもちといえば、こっばもちと塩餡餅だ。こっばは唐芋（薩摩芋）を輪切りにして穴をほがし、わらで繋いで冬の寒風にさらした干し芋。家族総出で作業したものだ。年の瀬、それを蒸して、つくもちに混ぜ込む。砂糖も足す。こっばだけ炭火で炙って食べたりもする。（松野）

梅干し漬けのしそ 孟宗竹の子の皮包み

孟宗竹の子の皮の裏（内側）に梅干しで漬けたしそを置き、それを包むように3辺を折って三角形にする。三角形の端からしたたる汁をチューチューと吸う。これもれっきとしたおやつでした！（星野）

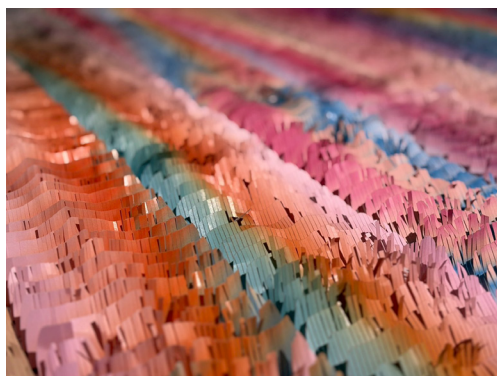


令和7年度・2025年度 卒業お祝い会のご報告

2月15日（日）、今年関東の大学を卒業する同窓生のための「卒業お祝い会」を行いました。卒業生は井添智子さん（高74）です。14人がお祝いにかけつけ、西荻窪の小さなフランス料理店「ボンジュール・レザミ」は満席となりました。

井添さんは東京藝術大学美術学部デザイン科を卒業し、ホテルへの就職が決まっていました。多くがモーレツ世代にあたる先輩たちからは健康第一、自分を大切にしようというメッセージが寄せられました。最後は「ふるさと」「天草高校校歌」を歌いました。初めて会う先輩たちに囲まれて緊張したと思うのですが、井添さんからは楽しかったとの感想をいただきました。

井添さんには卒業制作を紹介していただくよう頼んでいたもので、右のような写真と文章を送ってきてくれました。（松野）



【作品名】とき 【素材】紙、木材

【キャプション文】

日は上り季節は巡り万物は姿を変えていく

この絶え間ない流れの中で私たちはよりよく生きるため『時間』という静かな枠組みを作り上げた。しかし、その枠に収まりきれない生の流れは時に焦燥や不安となって私たちを突き動かす。

一度ついた折り目のように過ぎ去った瞬間は元には戻らない。

それがどんな形であろうと記憶の奥底で静かに重なり合い、今の私を形づくっている。

私の中で動く「純粹な時間」と社会が強い「枠組みの中の時間」との狭間で揺れ動く精神の形を表現した。



写真・井添智子さん提供

◀ 18回卒 集まれ！ ▶

天高 18 回卒 傘寿同窓会開催のお知らせ

私たち 18 回卒は下記の要領で傘寿同窓会を開催します。全国からの参加を呼びかけます。みんなで集まれるのは今回が最後になるかもしれません。ぜひ、声をかけ合い、ご参加ください。（星野）

記

日時：2026 年 10 月 4 日（日）

午後 5 時受付開始 懇親会 5 時半～8 時

場所：〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25

アルカディア市ヶ谷 ☎ 03-3261-9921（代表）

・地下鉄有楽町線・南北線市ヶ谷駅（1 または A1 出口）

から歩 2 分

・地下鉄新宿線市ヶ谷駅（A1 または A4 出口）から歩 2 分

・JR 総武線（黄色）市ヶ谷駅から歩 2 分

会費：12,500 円（同伴者 10,000 円）

申込〆切：2026 年 9 月 10 日

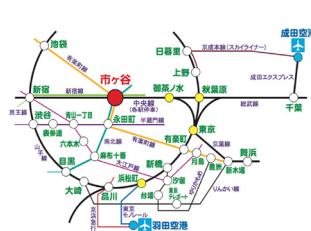
振込先：みずほ銀行大宮支店（店番 447）（普）3270523

事務局：星野（旧姓荒木）悦子

Email: etsuko212719@nifty.com

携帯：090-1437-4764

アルカディア市ヶ谷へのアクセス



天草市ふるさと応援寄附金

ふるさとへの思いを胸に全国でご活躍されている皆さま。是非、「ふるさと納税」という応援スタイルで、「天草」を元気にするための、まちづくり・人づくりをご支援ください。



特設サイト

こちらから寄附いただく、会員価格でご寄附いただけます。



ふるさと納税 3.0

クラウドファンディング型のふるさと納税です。



Instagram

返礼品や事業者様の紹介等、天草市ふるさと納税の魅力を発信中。



天草市の魅力的な返礼品をお届けします！



お申込み・お問合せ先 天草市ふるさと納税サポート室

電話：050-3092-4961（土日祝除く9時～18時） メール：support@amakusa.furusato-lg.jp

私の天高時代

楽しかった日々 がんばったあの頃
思い出をいつまでもこの胸に



新校舎



旧校舎

私の天高の思い出



中村 まつ子
(1974年卒・高26)

天高の思い出と言うと、高一の時の校内マラソン大会が印象に残っています。当時、高校では日本一長い距離の校内マラソン大会と聞き、完走することを目指していた私はとても不安になったものでした。当日は晴天に恵まれ、校庭には全校生徒が集まっていましたが、中にはリュックを背負って風車を立てたり、わらじをぶら下げたり、お祭り気分の先輩方もいて、少し安心したものです。それと学校のルールは5時間以内に帰校することでした。スタートの音と共に走り出し、途中苦しくなり「歩こう」と思ったこともありました。各地域で父兄の方々が応援してくださり、また飲み物やみかん、パン、ビニール袋入りかき氷までも出して下さっていました。こんな光景、テレビでしか見たことがなかったのですごく感激したのを思い出します。父兄の方々の応援や、入っていた部活が水泳部で冬の練習が毎日ランニングということもあってか、思っていたより上位で完走することができました。とても楽しい良い思い出です。これからもこの伝統のマラソン大会は続けていってほしいと願っています。

私の天高クラブ活動



濱田 賢児
(1984年卒・高36)

1年時は先輩達の球拾い、声出しと、ボールを持たされる機会は殆どなく兎に角、走れ！走れ！のハンド部独特の掛け声の下、毎日の練習で10km程度はMUSTだったような記憶があります、その甲斐あってか天高伝統のマラソン大会に於いて1年生時に52位でゴールインし、また夏合宿では早朝より十万山迄のランニング、朝食休憩後の明徳寺階段でのうさぎ跳び、昼食休憩挟んでグラウンドでの全体練習、練習試合でのフォーメーション確認、紅白試合、夏合宿が終了する頃にはメンタル面、基礎体力、スタミナ面での向上が図られ、チームとして「勝つ」為の課題が明確になり、その後の試合に十分に活かされました。また先輩達にも恵まれ、練習では厳しかったですが、体育会系特有な支配的構造社会ではありませんでした。いよいよ3年になり、最後のインターハイ予選が始まり、結果はベスト8に一步及ばず無念の敗退！でしたが、十分な爽快感と達成感を感じました。やがて社会人となり、様々な経験を重ね、昨年還暦を迎えましたが、「天高クラブ活動」をふと思い出すと私の青春時代が更新されました！

広い世界に憧れた高校時代



松本 貢二
(1965年卒・高17)

高校時代の一番の思い出は、弓道部に入り、2年生の春、招魂祭の弓道大会で優勝したことだ。賞品は置時計。弓道は高校に入ってから始め、社会人も一緒に競技する招魂祭の大会で優勝したのだから、私自身が驚いた。ただ、その後は成績も振るわず、3年になって受験勉強を理由に退部した。とはいえ実際には勉強はあまりせず、南小・本中時代からの友達と大いに遊んだ思い出の方が多い。兄弟姉妹はみな天高。父が天高のPTA会長をしていたものだから、何かとプレッシャーを感じていた私は、広い世界に憧れ、世界を股にかけて仕事をしたいと思うようになった。それで東海大学海洋学部（静岡市清水区）に進み、卒業後は日魯漁業（現在のウミオス）に就職。当時社長は鬼池出身の池崎勇氏だった。最初の赴任地は南米のトリニダード・トバコ。その後、スリナム、ブラジル、ペルー、アルゼンチンと南米諸国への赴任を重ね、主にはエビを取り扱った。妻とはブラジルで結婚。熊本から移住した両親をもつ日系二世だ。南米は私の第二の故郷となった。

天草高校OBの皆様や天草出身者の皆様の御寄附により、
昨年度も天草高校卒業生4名外、計7名の学生に奨学金を給付することができました。
ご協力に感謝申し上げます。

皆様からの心のこもった御寄附金が若者の手助けとなっています。
ありがとうございます。

1,000円から
何口でも結構です

郵便局に備え付けの払込取扱票に、東京天草育英会の口座記号・口座番号(00100-4-362127)を、
そして加入者名の欄に「一般財団法人 東京天草育英会」とお書きください。

一般財団法人 東京天草育英会 理事長 園田峯生

☎ 03-6261-5598 URL <http://amakusa-ikueikai.com>

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-7 ヒルクレスト平河町501号



新しい目で見て、すいか愛はまだ続く

竹尾 孝幸（1973年卒・高25）

すべて天草が出発点

久本 直美（1986年卒・高38）



私は天草高校卒業後、熊本短期大学保育科に進学しました。その後保育専攻科で保育の勉強を続け、幼稚園・保育園で30年以上保育士をしました。保育の仕事が大好きで、私の唯一の自慢は5ヶ国（アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、日本）で保育を経験したことです。カナダ

では幼稚園の研修を受け、結婚後は主人の海外赴任に同行し、そこで国際結婚をされたご家族と子どもたちのための教室を開いておりました。父と一緒に立ち上げた城河原保育園ではグローバルな視野をもった人に育ってほしいという思いから二カ国語保育を行いました。今は週に一回だけピアノのレッスンをしています。

イギリス滞在中に出会った方々のご縁で「グリーティングカード作り」と「宝塚歌劇団お芝居とダンス」が私の趣味になっております。

私は宝塚歌劇団が20代の頃から大好きです。イギリス滞在中、生徒のお祖母様が元宝塚歌劇団員のジェンヌさんをご紹介くださり、今その方の教室に通い、芝居とダンスを楽しんでおります。

カード作りもイギリスで学びました。イギリスはカードでのご挨拶が多くあり、カード代金もかさみます。月に1万円近くなることもあり、それでカード教室に通うことにしたのです。保育でカードを作っていた経験が役にたちました。今では個人用にオーダーを頂いて製作もしております。

天草を離れて22年経ちましたが、天草で育った環境や当時の生活が今の私の支えとなっております。歴史的にも天草はグローバルだったと思います。語学を学ぶと思ったのも何か物を作ろうと思ったのも、すべて天草が出発点でした。島から出ればそこは日本も外国も同じようなものでした。



手作りカード

真の旅の発見は、新しい風景を探すことではない。新しい目で見ることなのだ。（マルセル・ブルースト）

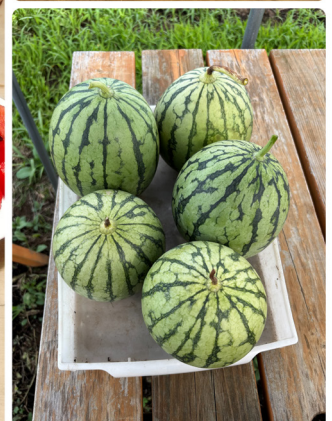
夏は西瓜作りと決めて10年が経ちました。大きい、小さいの。実が赤いの、黄色いの。形が丸いの、楕円の。皮の色が縞なしで薄緑の、黒いの。接木苗から育てたり、種から育てたり。食べた西瓜から採れた種を保存して、翌年、さらに翌々年に蒔いたり。農作業というより理科の実験のノリで今年はどういう西瓜を育てようかと悩むのも楽しみの一つとなっています。

天草の実家は私が学校に上がる頃にはもう農業を辞めていましたので、農作業を手伝った記憶がありません。横浜で社会人になってからは、畑や田んぼとはますます無縁の生活になってしまいました。お日様と共に起き、土を耕し、野菜を育て、日が暮れたら帰る。月の満ち欠けや、旬の野菜で季節を知る。そういう生活への憧れもありました。

さて、その西瓜作りですが、芽が出たらウリハムシ対策、梅雨時は雨と湿気対策、夏場は雑草対策、収穫時はカラス対策と目が離せません。収穫サインも実の見た目ではわからないので、受粉からの日数や積算温度、巻きひげの枯れ具合やへその凹み具合などで判断します。見極めがバッチリ当たった時には感激です。

そうそう、天草では苓北が「盆すいか」と呼んでとても有名ならしいです。いつか種を手に入れたら是非チャレンジしてみたいです。

新しい目で見た、すいか愛はまだ続きそうです。



天草高校便り

130 年の想いを繋ぎ、未来へ

生徒会会長 上口 絵麻



現在の天草高校は、高校総体・総文祭を終えた 3 年生がそれぞれの進路実現に向けて歩みを進めています。また、1・2 年生は新チームとしての部活動をスタートさせるなど、生徒一人ひとりが夢や目標に向かって日々努力を重ねています。

さて、4 月には天草高校創立 130 周年記念となる体育大会が開催されました。当日は、記念企画として全校生徒による人文字を披露したほか、記念の入場門を設置するなど、多くの方々の御協力のもと盛大に実施することができました。これらの準備や運営を通して、139 年という長い歴史を築き上げてこられた先輩方や地域の皆様、そして天草高校に関わる全ての方々への感謝の気持ちを改めて実感しました。体育大会練習期間中は天候に恵まれない日も多くありましたが、先生方や育友会の皆様の温かい御支援と御協力により、記念すべき体育大会を成功させることができました。また、今年度は生徒会活動の一環として、先生方や育友会の皆様のお力添えをいただきながら、天高公式インスタグラムの運用を再開しました。これは、天草高校の魅力を生徒の視点から発信し、より多くの方々に本校の良さを知っていただきたいという思いから始めた取り組みです。現在は月に 2～3 回程度の投稿ではありますが、学校行事や日常の様子などを発信しています。ぜひ天草高校公式インスタグラムをご覧ください幸いです。

これからも天高生一人ひとりが天草高校の伝統と誇りを受け継ぎながら、創立 130 周年という節目を新たな出発点として、次の時代へと歴史をつないでまいります。



@AMATAKA557_OFFICIAL

天草高校公式インスタグラムの QR コード

天草便り

天草高校三五会

西田 勝年（1960 年卒・高 12）



「天草高校三五会」は地元天草の 12 回生の集まりの会です。平成 19 年に関東あまたか会の会長に就任した山田清元会長は 12 回生です。

昭和 44 年 9 月、昭和 35 年度卒業の天草在住者 5 名にて、親睦会「三五会」を発足させました。今年は、創始から 57 年になります。2 年前から月一度の例会は 2 か月に 1 回になりましたが、57 年間 1 回も欠かさず月の 8 日に開いています。

毎年、全国の恩師や同級生への暑中見舞いのハガキを届けてきました。メンバー 7 人、令和 6 年の便りで終了しました。

故郷天草での同窓会を 5 年毎に主催してきました。平成 27 年 5 月、卒業 55 周年大同窓会を開催し、これを最後に天草での同窓会は最後になりました。この流れの中で平成 30 年には「関西三五会」の主催で紅葉の京都で「喜寿同窓会」が開催されました。コロナ感染の流行で遅れましたが最後の同窓会は、「東京三五会」主催で、令和 4 年 10 月東京で「傘寿同窓会」が開催されました。この概要については、「関東あまたか会」会報第 44 号に掲載されています。

5 名で始まった親睦会「三五会」が創設以来、57 年の間とぎれなく同級生の交流、絆が広がり、深くなってきたことは感無量です。写真は「東京三五会」が関西、中京、熊本の三五会に呼び掛けて「池の平ホテル」に集まった同級生の面々です。

天草三五会では、創始者は一人になってしまいました。メンバーは高齢になり 85 歳になった年度で解散しよう、ということとしております。



池の平ホテルに集まった関東・関西・中京・熊本の三五会の同級生たち

平素より、天草高校 並びにあまたか会の皆様
ご利用にありがとうございます。

代表取締役社長 矢島 義擴
元専務取締役 故矢島 静子

（高女 29・下浦出身）

白樺リゾート
池の平ホテル

〒391-0392 茅野市白樺湖
白樺リゾート池の平ホテル&リゾーツ
総合予約センター

池の平ホテル 検索
TEL.0266-68-2100



信州 白樺湖 THE LAKE RESORT

LAKE RESORT の開放感を
体験できる混浴エリア。

13 の個室とコーナーが並ぶ FOODHALL 型ダイニング。
開放的な食事会場で、皆様思い思いのお時間を。

ご理解・ご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます

令和8年度会費を納入された会員の皆様(7月31日現在)

定時	藤田 和治	10	木村 哲典	13	石井 裕二	15	山本 洋子	17	櫻井 美和子	20	宮崎 幸一	21	蔵田 博文	25	吉村 いつみ	28	江頭 眞喜子
定時	大塚 博幸	10	本多 勝則	13	玉田 七郎	15	井上 義通	18	星野 悦子	20	赤石 修一	21	益田 志郎	25	横山 誠二	28	前屋敷 重子
4	堀 青子	10	小林 惟邦	14	原田 純吾	15	田村 富子	18	赤尾 美恵子	20	弦巻 孝江	22	原田 眞一	25	浦田 信雄	28	鈴木 由美子
5	玉田 元康	10	西川 軍一	14	大野 正光	16	倉田 善造	18	齋藤 都	20	上 元範	22	有馬 衛	25	野口 金徳	29	木谷 祐一
5	宮崎 大和	10	鶴田 須賀子	14	森田 絃司	16	平石 水利	18	津田 志保子	20	宮本 東志美	22	中島 律子	25	金子 尚弘	29	榊原 保夫
6	小島 庄太郎	11	清原 桂典	14	富永 茂和	16	稲葉 由起子	18	千代延 博子	20	及川 立子	22	錦柄 淳子	25	竹尾 孝幸	30	金子 健太郎
6	小畑 幸保	11	山下 交	14	北内 寿夫	16	伊東 伸子	19	荒木 統司	20	池田 照樹	22	高見 洋介	25	帯部 力男	31	沼田 章子
6	光崎 親一	11	長谷場 亮祐	14	松岡 秀枝	17	中河原 昭夫	19	宮崎 秀隆	20	安齊 きみ子	22	江越 博昭	25	田川 信也	31	緒方 恵一郎
7	松尾 尚	11	加藤 いせみ	14	中島 剛二	17	長濱 栄喜	19	岡 衛志	21	佐々木 容子	23	濱崎 守	25	野口 明	32	松岡 睦士
7	田崎 弘吉	12	岩崎 定義	14	友澤 軍人	17	松本 貢二	19	山田 敏房	21	川上 文明	23	清水 真知子	25	荒川 さなえ	32	小野寺 智恵
7	森本 雅生	12	佐藤 文憲	15	谷山 弘行	17	角岡 セツ子	19	山田 貞子	21	川原 照文	23	桑野 良二	26	金子 清則	34	玉田 峰樹
8	有働 義卿	12	山田 清	15	松尾 弘美	17	松下 庄治	19	植村 嗣久	21	野島 雄二	23	佐藤 正明	26	中村 まつ子	38	久本 直美
9	渡辺 和則	12	西田 勝年	15	近藤 賢一	17	齋藤 佐智子	19	佐藤 純	21	菅澤 眞弓	23	倉田 和利	27	松野 明久	41	唐鎌 美佐
9	三宅 康定	12	金子 なほみ	15	原田 稔也	17	口元 博	19	檜原 いそ子	21	古山 隆樹	23	田原 真記子	27	桑原 洋一	65	柿久 昌範
9	山田 輝夫	12	野島 絃三郎	15	澤田 健次郎	17	金子 敬美	19	坂川 武	21	佐藤 義博	23	岡部 養一	27	吉野 睦子		
9	小町 知子	12	松本 絃典	15	吉永 靖子	17	志茂 豊子	19	小橋 園子	21	巽 正喜	24	木村 さよ子	27	野中 昭信		
9	唐津 孝	13	子原 敬子	15	前田 非登美	17	津田 祐一	19	宮本 国則	21	田原 昭	24	山下 庄治	27	川上 元継		
9	藤枝 純子	13	武田 縣	15	鶴田 壽英	17	駿河 和子	20	橋川 順一	21	土井 一美	24	三宅 盛夫	27	青葉 恵子		

令和8年度会費に加えて、ご寄附を賜りました会員の皆様

定時	藤田 和治	11	長谷場 亮祐	14	原田 幸徳	16	伊東 伸子	19	山田 敏房	21	佐藤 義博	23	田原 真記子	27	桑原 洋一	32	小野寺 智恵
4	堀 青子	12	岩崎 定義	14	中島 剛二	17	中河原 昭夫	19	山田 貞子	21	田原 昭	24	三宅 盛夫	27	吉野 睦子	38	久本 直美
6	小畑 幸保	12	山田 清	14	友澤 軍人	17	長濱 栄喜	19	植村 嗣久	21	佐々木 容子	24	木村 さよ子	27	野中 昭信	会友	中村 ミツエ
6	光崎 親一	12	西田 勝年	15	松尾 弘美	17	松本 貢二	19	宮本 国則	22	原田 眞一	25	野口 金徳	27	松野 明久		
7	松尾 尚	12	金子 なほみ	15	谷山 弘行	17	角岡 セツ子	20	宮崎 幸一	22	中島 律子	25	金子 尚弘	27	川上 元継		
7	森本 雅生	13	武田 縣	16	稲葉 由起子	17	明瀬 建	20	上 元範	22	江越 博昭	25	帯部 力男	28	江頭 眞喜子		
9	藤枝 純子	13	石井 裕二	16	平石 水利	17	櫻井 美和子	20	池田 照樹	23	濱崎 守	25	吉村 いつみ	28	鈴木 由美子		
11	清原 桂典	13	玉田 七郎	16	大塚 延子	18	星野 悦子	20	福田 いく子	23	清水 真知子	25	田川 信也	30	金子 健太郎		
11	大塚 徳満	14	森田 絃司	16	倉田 善造	19	宮崎 秀隆	20	宮本 東志美	23	桑野 良二	25	竹尾 孝幸	32	松岡 睦士		

前年度までに令和8年度年会費を納入された会員の皆様

12	三俣 香代子	14	原田 幸徳	17	明瀬 建	17	林田 秋由	19	大坪 里子	19	原田 悠里	20	福田 いく子	20	原田 淨	22	須崎 律代
----	--------	----	-------	----	------	----	-------	----	-------	----	-------	----	--------	----	------	----	-------

お名前の記載漏れや間違いがありましたら、事務局までお知らせ下さい。

令和8年度（2026年度）会費お振り込みのお願い

関東あまたか会はみなさんからの会費及び寄附で運営されています。会費（年間2000円）及び寄附金の払い込みは、同封の赤いゆうちょ銀行払込取扱票（振込手数料は会で負担）をご使用下さい。振込取扱票には住所・氏名、卒回（または卒業年）をお書き下さい。すでに令和8年度分をお払い済みの方（上記の表でご確認下さい）は今回振り込まれる必要はありません。

また、ATMやインターネットを通じてのお振り込みも可能です。その場合は、右の情報をご指定下さい。

- ゆうちょ銀行から振り込む場合
 - 口座記号番号：00180-6-487424
 - 口座名義：関東あまたか会
- 他の銀行から振り込む場合
 - 銀行名：ゆうちょ銀行
 - 店名（店番）：〇一九（ゼロイチキュウ）店（019）
 - 預金種目：当座
 - 口座番号：0487424
 - 口座名義：関東あまたか会



警備に関することは
なんでも相談せんね！
(株)機動警備
代表取締役社長
山下 純二
(天高19回生 姫戸出身)
電話：048-728-5530
FAX：048-728-8085

Amakusa Santa Coming Hotel Bridal Plan
サントスティックウェディング
ゲストとお客様と一緒に楽しむ結婚式を！
http://red-happiness.com
アマクサ サンタ コミング ホテル
〒863-0043 熊本県天草市亀場町亀川 74-3
TEL 0969-22-0100 FAX 0969-24-3472

天草の海の幸を各種ご贈答にどうぞ
贈答用活車えび生産販売
有限会社
KOFUKUDO 幸福堂
代表取締役
松中 祐二 (高27回生)
宮野河内出身
〒863-1212 熊本県天草市河浦町宮野河内234
TEL 0969-78-0186(代) FAX 0969-78-0193
E-mail: kofukudo@gaea.ocn.ne.jp
http://www.kofukudo.co.jp/

2026（令和8）年度 関東あまたか会総会・友好の集いのご案内

母校の近況報告、食事と懇談、全員の自己紹介、歌と踊り、天草の物販

- 1 日 時：2026年10月31日（土）12:00～15:00（受付開始11:30）
- 2 場 所：スクワール麹町 3階「錦華」 東京都千代田区麹町 6-6 ☎ 03-3234-8739
JR 中央線・総武線四ツ谷駅下車 麹町口の目の前 徒歩1分（会場に駐車場はありません）
東京メトロ丸の内線・南北線四ツ谷駅からも行けます。
- 3 会 費：会員 7,500 円、介護者付添いの場合 2 人で 14,000 円、30 歳未満会員 4,000 円、学生・小中学生無料
- 4 ご出欠のお返事は、同封の返信用葉書に必要事項を記入の上、**10月3日（土）必着**でお送りください。ご出欠の返信後に変更が生じた場合、**10月26日（月）12時までに**事務局（下記）までご連絡ください。それ以後のキャンセルについては食事代 5,000 円を後日お支払いいただきます。

プログラム（予定）

総会	12:00～12:45
校長先生ご挨拶	
来賓ご挨拶	
会務（活動・会計）報告	
記念写真撮影	12:45～13:00
友好の集い（食事付）	13:00～15:00
全員による自己紹介・近況報告	
長寿の祝い（古希・喜寿・傘寿・米寿・卒寿）	
みんなで踊ろう（天領音頭）	
みんなで歌おう（ふるさと、校歌斉唱）	

大
出
し

天草物産品販売

あじみりん干し、手作り団子、こっぱもち・塩あんもち、辛子れんこん、乾燥わかめ、あおさ、天然塩などを販売する予定です。ご希望の天草物産品がありましたら、返信用葉書にてお知らせ下さい。

問い合わせ・連絡先：事務局（担当・松野）

☎ 090-3272-4383

Email: akimatsuno@mac.com

お一人で参加されても心配ご無用！
楽しくご歓談いただけます。



イラスト：中京支部 吉田和美（高17）

啓明寮メンバーのみなさんへ

総会に参加する啓明寮メンバーのみなさんは、総会・友好の集いの後、お茶会を行いますので、そのまま会場に残って下さい。（平石水利・高16）

訃報のお知らせ

今年2月から7月にかけてご逝去のご連絡を受けた方をお知らせします。名前の（ ）は旧姓。右の（ ）は逝去年月。

高女 24	柏谷（横山）松代 様	（平成 27 年）
天中 31	齋藤 光 様	（令和 6 年 12 月）
高 2	中村 東悟 様	（令和 5 年）
高 3	林原（田中）実美 様	（令和 8 年 1 月）
高 5	江崎 康彦 様	（不明）
高 11	藤田 和雄 様	（令和 7 年 2 月）
高 12	小林 唯助 様	（令和 7 年 11 月）
高 12	丸田（田中）泰郎 様	（令和 7 年 11 月）
高 14	友澤 軍人 様	（令和 8 年 2 月）
高 14	中島 剛二 様	（令和 8 年 1 月）
高 16	浦上 哲 様	（令和 7 年 12 月）
高 18	辻崎 徹 様	（令和 8 年 4 月）
高 19	田中（規矩）廣子 様	（令和 7 年 10 月）

編集後記

初夏に梅の実がなって、梅雨時に梅干しを仕込むと、梅雨明けに天日干しをすることになり、暑い夏に梅干しを食べることができます。自然はなんとよくできているのだ！と驚きます。しかし、その自然が今や大異変。今年は「酷暑日」が新たに設定されました。気温が40度近いと、息が苦しくなります。心臓の鼓動も早くなって、このまま倒れてしまうのではないかと心配になります。天草の自然も大きく影響を受けています。魚や海藻が昔のように採れなくなって、漁業・水産業が立ちゆかなくなっているとのこと。そこに災害が起きると、本当に生活の基盤が破壊されてしまいます。

今回の熊本地震で被災された地域の酷暑の中での作業は本当に大変だと思います。速やかな復旧と生活の再建を願ってやみません。（松野）